

図書館友の会けやき・左京図書館 共催イベントのお知らせ

講演会 左京区歴史散歩

琵琶湖疏水の話

講師

佛教大学歴史学部教授 原田 敬一氏

日時 2012年1月21日(土) 午後2時～4時

場所 左京合同福祉センター3階会議室(左京図書館階上)

定員 70名 入場無料

私たち図書館友の会けやきは、身近な図書館が地域の文化の情報発信の場となることを願って、さまざまな活動や提言を行っています。2003年以来、会が主催・企画し左京図書館と共催した講演会では、図書館利用者の皆様とともに、先生方から貴重なお話をお聞きする機会を得ることができました。

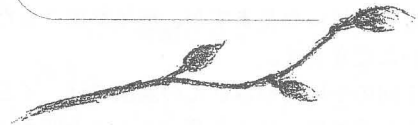
今年度は、昨年度に引き続き佛教大学歴史学部教授原田敬一先生を講師にお迎えし「左京区歴史散歩～琵琶湖疏水の話」と題してお話いただきます。昨年の講演会では、私たちの身近な史跡を手掛かりに、専門的でありながらも非常に分かりやすいお話を下さり、普段歩いている町の景色に歴史の色がついたような、とても豊かな気持ちになりました。今年も先生のお話を伺いながら、参加下さった皆様とともに学び考える時間を過ごせたらと思っています。どうかふるってご参加ください。

**\*参加申し込み・お問い合わせ**

当日参加も可能ですが、できるだけ以下の方法で事前にお申込みください

- ・左京図書館カウンターへ
- ・図書館友の会けやき 永井へ

FAXのみ (075) 721-2625



今年度もやります! **図書館で発表会**

あなたの図書館利用の成果を!

**作品募集**

図書館、「そこには、すべての人が必要としているものがある。」といえます。

日頃、図書館を利用されているみなさんは、図書館の資料(本・雑誌・新聞・DVD・CDなど)をどのように活用されているのでしょうか。

たとえば、「図書館で借りた本を見て作った物がある」「写真・絵などの上達のためにこの本が役に立った」「旅行のプランを作った」「サークルの学習会に使った」「(子どもの夏休みの)自由研究の参考資料として」「仕事をするため」…

「図書館利用によって、こんなことができました」ということを発表しませんか。

主催: 図書館友の会けやき  
共催: 京都市左京図書館

2012年2月下旬の1週間程度、左京図書館内の壁面に展示して紹介します

内容

- ◇実物 または 写真  
(最大1m四方くらいまでの平面)
  - ◇参考にした図書館の資料  
(本の題名・著者・出版社など)
  - ◇一言感想
  - ◇お名前(イニシャルでも)
- 申し込み

申込用紙は左京図書館にあります

(2012年1月末日までに、左京図書館カウンターに)

\*搬入日時は、申し込み締め切り後、追って連絡します。

■ 左京南支部小学校ボランティア

REPORT

## 「読み聞かせ」交流会 「読み聞かせ」ボランティアの研修と交流の集い

2011年9月5,12,16日

第1回 講義「えほんたいけん・えほんたんけん」中川あゆみ氏

第2回 講義「やってみよう！読み聞かせ」高井かづみ司書

科学絵本・科学読み物ブックトーク

「ひとひらの雪から不思議な世界へ」島崎真紀子氏

第3回 実践交流～2グループに分かれ、各自が持参した本を読み語り実践交流

読書ボランティアの方達の研修と交流の集い「読み聞かせ」交流会が、今年も左京図書館で9月5,12,16日の3回にわたって行われました。この交流会は、学校での図書ボランティア活動が盛んになっていくなかで、公共図書館が積極的にボランティアを支援しようと、けやきが企画・協力し、左京図書館が主催して、2005年以来毎年開催されています。

昨年と同じく、3回に分けて絵本の基本を学ぶ講義、集団への読み語りについての講義、科学読み物についてのブックトーク、小人数グループでの読み語りの実践交流を実施、第1回と第2回は小学校以外で活動しておられる方や絵本に興味のある方にも広く呼びかけ参加を募りました。3回で延べ81人の参加があり、有意義な研修、交流の時間をもつことができました。

### 参加者の感想

#### 3回を通して参加して

子どもの小学校入学と同時に読み聞かせのボランティアに参加し、今年で4年目になります。そして交流会への参加も4年目になりますが、毎年参加するたびに新しい刺激をいただきます。

第1回の中川あゆみさんの講演では、子どもに本を届けることの重要性、絵本を選ぶことの大切さに、背筋ののびる思いでした。

第2回の読み聞かせについての講義では、自分の読み聞かせを振り返り、初心に返る思いです。更に、島崎真紀子さんのブックトークでは、子どもになった気分ですっかり楽しんでしまいました。

第3回目のグループ学習は、他のボランティアの方々の実際の読み聞かせにふれる、貴重な体験でした。その本を選んだ理由、その本から広がる他の本へのアプローチ、また、他の学校の読み聞かせの現状、ボランティアの活動、活動の中での悩みなど、話はつきることなく、本当に楽しく、充実した内容でした。

毎年聞かせ交流会に参加することで、新たな知識や他のボランティアの方々の情熱を、わけていただく思いがします。今回得たものを参考にし、選ぶ本の世界を広げ、子どもたちに伝えていきたいと思います。(星野)

#### 「えほんたいけん・えほんたんけん」

「今、赤ちゃんは、長編のよい絵本に出会っているのだろうか。」中川あゆみさんから初めにこんな問いが投げかけられました。

赤ちゃんと長編絵本とは少々意外でしたが、『ちいさいおうち』を紹介されて、そういえば、と思い出しました。幼い我が子には長すぎるかもしれないと思いつつ読んだ幾冊かの本と、予想に反しじっと聞く子どもの姿に驚いたことを。

絵本はロングセラーのものが良いらしいとはどこかで聞きかじっていましたが、ほんとうの楽しさやおもしろさをもった絵本には、ある特性がそなわっていることを今回教えていただきました。それは、絵本の絵は連続性と方向性と物語性と芸術性があること、ことばは高い文学的センスで選ばれ、くりかえし読まれるのに耐えられること、そして絵とことばは良い関係を保っていることです。もちろんストーリーのよさはいまでもありません。物語そのものを表している絵と美しい日本語がうまく合った完成度の高い絵本だったから、子どもは物語を深く楽しめたのかもしれない。

今や絵本は産業なのだそうです。90年代に絵本が芸術として認められた頃から、絵のレヴェルは上がってもストーリーは破たんし、インパクトや刺激の強い絵本が多い傾向

にあるとのこと。たしかに今、あふれるほどの絵本の中から何を選んだらいいのか迷うことしばしばです。

絵本の原点に立ち返って、読んでほしい物語絵本として『こねこのピッチ』『かもさんおとおり』『じごくのそうべえ』『チムとゆうかなせんちょうさん』等をあげていただきました。長く愛され続けている絵本をあらためて手に取り、じっくり読んで、いい絵本をえらぶいい目を養っていきたいです。(松田)

### 「やってみよう！読み聞かせ」

この講座では、司書の高井さんから、絵本の紹介を交えて、読み聞かせのコツを伺いました。

はじめに、絵本『あな』を落ち着いた声で読んで下さいました。家にもある本ですが、読み聞かせをしてもらって本を楽しむのっていいなあとあらためて思いました。

『どろんこハリー』では、表紙や見返しを開いたところの絵に合わせて本文を読み始めると良いというお話でした。

「えー、そんなことしていいの!？」と驚いてしまいましたが、確かにぴったり。ただ読むだけではなく、もっと絵本と向き合えば、より良い見せ方があるのかも知れないと感じました。

読むスピードやめくり方等の基本を聞きながら、自分のいつもの読み聞かせをちょっぴり反省しつつ、より良いボランティア活動ができるようにと気を引き締めました。

(山田)

### 科学絵本・科学読み物ブックトーク

学校の図書ボランティア活動をしていて、子ども達に読み聞かせだけでなく、ブックトーク等でたくさんの本と出会いをしてほしいなと感じていました。

「科学読み物」と「ブックトーク」の二つのキーワードに惹かれて昨年参加しました。それが楽しかったので、今年も「待ってました!」という感じでお話を聴きに行きました。

今年のテーマは「雪」。毎年、子どもと一緒に結晶を見るだけで終わっていたので、今年は写真家ペントレーの話や雪の科学の本を一緒に見たいと思います。そして、また雪を見ると、さらに興味深く見られるはず。

とにかく、お話をくださった鳥崎さんの引き出しの多さに感心しきりです。

科学の本のブックトークの観点からは、“一冊だけではわからないのでいろいろ読むこと”“絵本から教科書的な

もの、そして伝記へ進める”等、ためになるお話でした。自分に本の知識と理解があれば、展開の仕方です。私も、もっと本を読み込んで、子ども達に「本って楽しい」ということを感じてもらえる活動を目指していきたいと思います。

本好き・科学好きの情熱!が伝わってきて、お話を聞いているとワクワクしてくる講座でした。(山田)

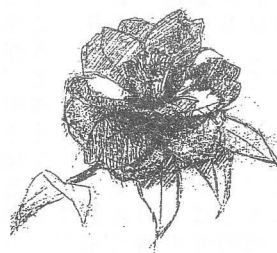
### 実践交流

子どもになって本を味わう楽しみを体感しよう - 第2グループの課題通り、2時間を大いに堪能しました。実際に試してみたいくなる『ピッツァぼうや』(ウィリアム・スタイグ)、その世界観が素晴らしい『木』(木島始)、斬新な言葉で子どもの真意を表した『ピンクがすぎってきめないで』(ナタリー・オンス)等と出逢いました。その後、話題は多岐にわたりました。

声に本が合うか?会話の読み方は?途中で間違ったら?聞き手にとってはどうだろう?又、絵があることにより、絵が見えにくいと本に集中出来ない子の存在については?そして、これらに対し、的確に解決策が見出されました。読み手として、出したい声をイメージし普段から声を出す、声色を使わず声の高低・大小・スピードで表現する、絵を隠さぬよう本の持ち方も鏡を見て練習する、聞き手の位置を確認する、等、分かり易く教えて頂きました。

著作権についても有意義な意見が出ました。大型に作り替える場合、筆者によって、その絵本の大きさにこだわりがある方もいるので 出版社に問い合わせる。作者の意図に反していないか考慮する。絵本に携わる者として、沢山の学びがありました。

ボランティアの課題は果てしないと感じました。読書体験が異なる聞き手への選書、参加人数の違い、スタンプ制導入によるタイムロス等、様々な問題点を認知しました。だからこそ、互いに読み合い、意見を交わす場が必要と実感しました。改善する機会を作るチャンスを持つこと、又、そうしたいと感じることこそが、日々の活動の向上に直結し、読み聞かせの楽しみも極上のものになると確信致しました。(松尾)



第11回 おとなのための語りを楽しむ会

11月19日

今年も定例の「京都おはなしを語る会」の、メンバーによる語りを楽しむ会が開催されました。図書館に開催日の問い合わせもあり、会の定着を実感して嬉しく思いました。

当日はあいにくの雨でしたが10数名の参加者があり、男性もいつになく多いのが印象的でした。今回語られたのは日本や朝鮮、グリムの昔話、アメリカ民話、創作などの7話です。

参加者の感想から

- ・毎年ほっとできるこの催しを楽しみにしております。色々なおはなしが聞けて、とても得した気分です。また次回楽しみにしております。
- ・楽しい集まりでした。次の回が楽しみです。もっと広く知っていただくと、もっともっと人が集まって下さること

と思います。

・昔懐かしいお話の数々を肉声の語りで聞かせて戴き、心温かく又胸にジーンと来ました。……毎日この様な人肌の温もりの声でおはなしを聞ける子ども達は何と幸せなことでしょうね。久々に自分の子育ての頃や自分の小さかった時をフツフツと思い出させて戴き、本当に嬉しかったです。

・聞いたことのないお話もいろいろと聞くことができ、楽しい時間をいただきありがとうございます。……普段本は活字を目で追いかけるのですが、目をとじて耳からお話を聞くのもイメージーションが広がり、とても良い刺激的な時間を体験した様に思いました。

・思いがけないチャンスに恵まれて、楽しいひとときを過ごせてラッキーでした。語り手さんもお一人ずつ个性的で、お人柄が偲ばれて興味深く聞かせていただきました。

くらべる鉄道

川辺謙一著  
東京書籍 2011年

この本は日本や世界の電車や鉄道を種類別に比較してわかりやすく説明してくれています。例えば、各国の高速鉄道を比較したり、食堂車のメニューを比べたりしています。僕はトワイライトエクスプレスに乗りたくて、寝台車比べはおもしろかったです。写真とか絵が多くてとてもわかりやすいと思います。  
(小6・つばめ・吉田)

困ってるひと

大野更紗著 ポプラ社  
2011年

難民支援に奔走する大学院生が、ある日突然、稀な難病にかかり、極限の「困ってるひと」となる。暴走系の難病女子とクマ先

けやきの  
本棚 37

私の  
おすすめの本

生(医師)やムーミンパパ・ママ(家族)のやりとりにはユーモアが漂い、困った状況も「大丈夫かも!？」と思えてくるから不思議です。「困る」という事態により見えてくる世界、社会の有り様について考えるきっかけをくれる1冊です。  
(左京図書館・高井)

あなたは誰?

私はここにいます

姜尚中作 集英社新書  
2011年

「私はここにいます。お前はどこに立っている?」30年前28歳の在日の青年は、ドイツでデューラーの絵に出会う。500年前の(自画像)との対話を原点として様々な作品を独自の切り口で語っているこの本は、2年間日曜美術館の司会を務めた著者が、その時々々の感動を活字に留めておきたいと纏めた「美術本」的な装いの人生哲学の書。  
(会員・ねこまま・下鴨)

編集後記

▽今年度のけやきは図書館の指定管理者制度について、事務局を中心とした話し合いを行いました。また、この機会に「自分たちの望む図書館のあり方」に行き着くよう、成果を発表できず、まだまだその引き続き取り組みたいと考えています。来年一月の講演会は「左京区歴史散歩」の第二弾。前回の講演会での「元の歴史」について、長年の住み暮らしていても、地域の思いはもとめて、津波、原発事故、改めよ、地震、生活の基盤であり、年々暮らしてきて、苦難を引き、(り)

◇けやき 第37号 2011年12月16日  
◇制作 図書館友の会 けやき ニュースレター編集部  
題字 高野のYさん タイトルバック 岩倉のSさん  
カット 高野のHさん  
◇発行 図書館友の会 けやき  
京都市左京区高野東開町1-23-26-101永井方  
TEL/FAX 075-721-2625